

■研修内容

①令和2年度在宅医療介護連携推進事業アンケート報告
報告)宇城市地域包括支援センター

②グループワーク(ZOOMでのグループワーク体験)
テーマ「連携」について
「宇城市の医療と介護の連携は進んでいるのか？」

■発表 1~2グループ

■閉会

在宅医療・介護連携に関するアンケート調査

■ 令和2年10月実施

■ 宇城市内の医療・介護連携に関する内容に加えて、
コロナ禍での現状を聞くアンケート

■ 宇城市内医療・介護事業所 293ヶ所

■ 返送数193
(H30 207)

■ 全体返送率:66%
(H30 65.1%)

回収内訳

	対象票数	有効回収票数 (件)	有効回収率 (%)
医療機関	44	25	56. 8
歯科医療機関	28	9	32. 1
調剤薬局	30	18	60
介護保険事業所	153	112	73. 2
有料老人ホーム	38	25	65. 8
不明		4	
全アンケート総数	293	193	65. 9

■全体的に回収が少なく、7割を超えた回収は介護保険事業所のみ。

質問1 現在、他の事業所との連携はできていますか？

	全回答	医科	歯科	調剤薬局	介護保険事業所	有料老人ホーム	未回答
十分できている	27	3	0	1	7	0	0
概ねできている	122	15	2	2	83	17	3
あまりできていない	29	5	1	11	10	1	1
できていない	11	1	6	3	1	0	0
未回答	4	1	0	1	2	0	0

■「概ねできている」の回答が一番多い

■歯科、調剤薬局は「あまりできていない」「できていない」の回答が最大値

質問2 現在、よく連携している事業所は？（全体）

医療系

福祉系

	令和2年度	平成30年度
1	病院 112	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) 113
2	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) 105	病院 102
3	地域包括支援センター 44	訪問看護ステーション 51
4	訪問看護ステーション 43	一般診療所 49
5	有料老人ホーム 43	有料老人ホーム 37

■ 地域包括支援センターとの連携が増えた。

質問2 現在、よく連携している事業所は？（事業種別）

医療系

福祉系

	1		2		3	
医科	病院	16	訪問看護 ステーション	12	ケアマネ ジャー	12
歯科	病院	6	一般 診療所	3	歯科 診療所	2
調剤薬局	病院	11	一般 診療所	7	薬局	6
介護保険 事業所	ケアマネ ジャー	72	病院	59	有料老人 ホーム	33
有料老人 ホーム	病院	17	ケアマネ ジャー	16	訪問看護 ステーション	10

■ 歯科、調剤薬局に福祉系との連携、特に「ケアマネジャー」が入っていない

■ 介護保険事業所の連携に有料老人ホームが上位に入った

質問3 連携をとりやすい職種は？（全体）

医療系

福祉系

	令和2年度	平成30年度
1	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) 128	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) 140
2	看護師 77	看護師 82
3	MSW 63	医師 77
4	医師 47	MSW 52
5	ホームヘルパー 34	ホームヘルパー 44

入れ替わる

- 平成30年度とほぼ変わらない順番。
- 「医師」と「MSW」が入れ替わった。

質問3 連携をとりやすい職種は？（事業種別）

医療系

福祉系

	1		2		3	
医科	ケアマネジャー	18	看護師	14	MSW	8
歯科	医師	5	歯科医師	5	看護師	2
調剤薬局	医師	13	看護師	9	ケアマネジャー	7
介護保険事業所	ケアマネジャー	80	MSW	47	看護師	40
有料老人ホーム	ケアマネジャー	20	ヘルパー	13	看護師	10

■MSWが医科の3位にランクUP

■調剤薬局にケアマネがランクイン(今回は福祉系との連携なし)

■介護保険事業所の連携にMSWランクUP

■看護師は全ての事業種にある。

■3事業種で「ケアマネ」が最も連携が取りやすい職種

質問4 連携をとりやすい理由は？(全体)

1位 「患者(利用者)の症状等の共有ができる」 116

2位 「相談しやすい環境ができている」 75

3位 「職種の専門性を理解している」 63

質問5 連携をとりにくい職種は？(全体)

	令和2年度	平成30年度
1	医師 78	医師 72
2	歯科医師 35	歯科医師 43
3	管理栄養士・栄養士 35	薬剤師35
3	薬剤師 27	管理栄養士・栄養士 34
4	保健師 24	保健師 32

医療系

福祉系

令和2年も平成30年度もほぼ同じ結果

質問5 連携をとりにくい職種は？（事業種別）

	1		2		3	
医科	医師	8	管理栄養士 栄養士	7	歯科医師	5
歯科	ケアマネ	3	MSW	2	社会福祉士	2
調剤薬局	管理栄養士 栄養士	7	ケアマネ	5	MSW リハ職	4
介護保険事業所	医師	63	歯科医師	28	薬剤師	24
有料老人ホーム	医師	4	保健師	4	管理栄養士 栄養士	2

医療系

福祉系

■ 全体的に医療系職種が多い

■ 歯科、調剤薬局はケアマネ連携が課題

■ 福祉系は医療系職種に苦手意識がある事は否めない

質問6 連携をとりにくい理由は？

1位 相談しやすい環境ができていない 93

2位 連携の経験がない 64

3位 役割分担が明確でない 14



課題

質問7 今後連携したい事業所は？（全体）

医療系

福祉系

	令和2年度	平成30年度
1	病院 73	病院 89
2	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) 58	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー) 53
3	行政 32	地域包括支援センター 50
4	訪問看護ステーション 30	訪問看護ステーション 42
5	一般診療所 24	一般診療所 38

■質問2にて地域包括支援センターがランクUPしていた結果もあり、ここ3年で包括への連携、相談が進んだ？

■行政については制度面、コロナ対応等判断に迷う事が増えている？？？

質問7 今後、連携したい事業所は？（事業種別）

医療系

福祉系

	1		2		3	
医科	病院	8	ケアマネジャー	7	一般診療所	5
歯科	訪問看護 ステーション	4	ケアマネジャー	3	病院	2
調剤薬局	ケアマネジャー	9	訪問看護 ステーション	9	病院	6
介護保険 事業所	病院	49	地域包括 支援センター	32	ケアマネ ジャー	31
有料老人 ホーム	地域包括 支援センター	9	病院	7	ケアマネ ジャー 行政	6

■「医科」「歯科」「調剤薬局」にケアマネジャーとの連携が上位にある。

■全ての事業種にケアマネジャーとの連携があがる。

■福祉系は「病院」との連携があがる

質問8 本市の医療と介護の連携は進んでいると感じますか？

	全回答		医科	歯科	調剤 薬局	介護保 険事業 所	有料 老人 ホーム	未 回 答
非常に感じる	3	92	0	0	0	2	1	0
感じる	89		13	0	4	57	14	1
あまり感じない	89	93	10	5	13	48	10	3
全く感じない	4		0	1	1	2	0	0
未回答	8		2	3	0	3	0	0

- 1差で「感じない」の意見が多い
- 歯科・調剤薬局は「あまり感じない」の意見が最大値
- 「変わらない」という選択肢も必要だった

質問9 入退院時の情報共有をはじめとして、医療と介護の切れ目ない連携はできていますか？

	全回答	医科	歯科	調剤 薬局	介護 保険 事業 所	有料 老人 ホーム	未 回 答
十分にできている	9	1	0	0	6	2	0
概ねできている	148	21	1	9	92	21	4
あまりできていない	23	1	2	5	14	1	0
できていない	6	0	2	4	0	0	0
未回答	6	2	4	0	0	0	0

■医療と介護の連携が進んでいるという実感は乏しいが、実業務での連携は「概ねできている」という意見が多い。元々患者(利用者)を通じてのやりとりは業務上必要な事として実施されていると考える

問10 多職種とのつながりにおける患者・利用者の主な情報の共有方法は？

	全体	医科	歯科	薬局	介護保険事業所	有料老人ホーム	不明
対面による会議	42	0	0	1	27	13	1
電話	94	13	1	11	58	8	3
FAX	14	1	1	3	6	3	0
メール	0	0	0	0	0	0	0
書面	57	8	4	1	37	7	0
SNS等	1	0	0	1	0	0	0
ICT活用	1	1	0	1	1	0	0
その他	3	1	3	2	0	0	0
未回答	6	1	3	2	0	0	0

電話による情報共有が最も多い。

質問10を事業種別にまとめたもの

	1		2		3	
医科	電話	13	書面	8		
歯科	書面	4				
調剤薬局	電話	11	FAX	3		
介護保険事業所	電話	58	書面	37	カンファレンス等の会議	27
有料老人ホーム	カンファレンス等の会議	13	電話	8	書面	7

■情報のやり取りのしやすさ、スピード感という事では電話の利用が一番効率が良い。誰に、どの時間帯に連絡すればよいかなど効率よく電話かける工夫、配慮が必要？

■福祉系はカンファレンスでの情報共有も多く、コロナ禍でのカンファレンスの在り方は情報共有、連携を左右する。

質問11 多職種での情報共有の為に利用した事があるツールを教えてください

	全回答	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料老人 ホーム	未回答
くまもとメディカル ネットワーク	20	5	0	4	11	0	0
うともんネット	5	1	0	0	3	1	0
その他の情報共有ネット ワーク	3	1	0	0	2	0	0
紙媒体の情報共有ツール	88	13	1	8	49	15	2
お薬手帳	68	11	1	10	29	15	2
糖尿病連携手帳	17	4	0	4	4	3	2
私のノート	7	4	0	0	1	1	1
宇城市情報提供書式	30	3	0	0	23	4	0
所属する事業所の情報提 供書式	56	6	0	2	38	10	0
利用したことがない	55	3	4	5	35	6	2
その他	2	0	1	0	1	0	0

質問11を事業種別にまとめたもの

	1		2		3	
医科	紙媒体の情報共有ツール	13	お薬手帳	11	所属する事業所の情報提供書	6
歯科	利用したことがない	4				
調剤薬局	お薬手帳	10	紙媒体の情報共有ツール	8	利用したことがない	5
介護保険事業所	紙媒体の情報共有ツール	49	所属する事業所の情報提供書	38	利用したことがない	35
有料老人ホーム	紙媒体の情報共有ツール お薬手帳	15	所属する事業所の情報提供書	10		

■紙媒体での情報提供が主流

■3事業種でお薬手帳の活用がある

■利用したことがないという意見も見逃せない

質問12 宇城市地域包括支援センター発の活用した事があるツールは？

	全回答	医科	歯科	調剤 薬局	介護保険 事業所	有料 老人 ホーム	未回答
PCサイトにおける空室情報の案内	52	8	0	7	30	7	0
情報提供書式(シート)	33	6	0	0	23	3	1
入退院の連携ツール	24	6	0	0	14	4	0
事業所一覧まとめ	54	8	0	2	39	5	0
在宅医療パンフレット	7	1	0	0	6	0	0
センターへの直接相談	54	9	0	1	33	9	2
利用した事がない	61	8	5	9	33	4	2
未回答	18	1	4	1	10	2	0

本事業を通して連携の意識や動きが変わった事があれば教えてください

(医科)

- カンファレンスを行う際は必ず連携先を声掛けするようになった。
- 各職種の体制について知る事ができた。
- 文章を頂く事で確実な情報が得られ、聞き逃しや確認の重複が減った。相手へも文章での依頼を行いやすくなった。

(薬局)

- 患者さんの情報提供が薬以外でもできる。

(介護保険事業所)

- 病院との連携がスムーズになった。
- 有料施設の空き室情報で的を絞って相談できるようになった
- 連携は難しい事を確認した(もともとの目標が違う)
- 医療機関に出向いての情報交換をする機会が増えた

(有料老人ホーム)

- 自分のホームが満室の際は近隣施設の空きをアナウンスしたりしている。他施設に入所となるが、それを機に何かあれば情報交換できる関係がいまも続いている

考察

- 事業種によってはアンケートの返送率が悪く傾向というところまでは結論付けできない。
- 連携が進んでいるという実感はないが業務上での連携はできている
- 歯科、薬局の実働と連携の在り方を検討
(現状では平時のやりとり(業務報告等)で十分に事たりうる状況かもしれない)
- MSWやケアマネは事業種同士の垣根、苦手意識をつなぐ役割
- 包括支援センターには総合相談、情報提供、情報発信の役割が求められている
- 情報共有、連携には電話、紙媒体が主流+ICTをうまく連携に活用して情報を補う工夫や効率を検討する必要がある

問14 ICT(WEB会議等)を活用した連携を行っていますか？
(回答総数193)

	全体	医科	歯科	薬局	介護保 険事業 所	有料老 人ホー ム	不明
行っ て い る	36	5	0	2	26	2	1
行っ て い な い	138	19	8	15	74	19	3
未 回 答	19	1	1	1	12	4	0

問15 質問14で「行っている」と回答された方にお伺いします。
 利用した事がある連携ツールをお答え下さい(複数回答可)
 (回答総数198)

	全体	医科	歯科	薬局	介護保険 事業所	有料老 人ホー ム	不明
ZOOM	29	5	0	2	19	2	1
Facetime	9	1	1	1	6	0	0
Skype	3	1	0	0	2	0	0
その他	1	0	0	0	1	0	0
未回答	156	20	8	16	86	23	3

ZOOMの利用が一番多い

問16 質問15で「行っていない」と回答された方にお伺いします。

今後、ICTツールの導入、活用予定はありますか？（回答総数192）

	全体	医科	歯科	薬局	介護保険 事業所	有料 老人ホ一 ム	不明
導入に向けて 準備している	8	3	0	0	5	0	0
導入を検討 している	43	3	1	6	26	7	0
導入予定は ない	83	12	7	8	40	13	3
未回答	57	6	1	4	40	5	1
その他	1	0	0	0	1	0	0

導入ツール: ZOOM(複数回答あり) teams など

コロナウイルス感染予防禍での連携について伺います。

業務の中で支障が出ている事、困っている事を教えて下さい

■面会が難しく支援者の情報共有を電話や書面で行っている。

「百聞は一見にしかず」 どこまで伝えられているか不安がある。(医科)

■受診控えを指示している介護保険事業所や施設がある。やりすぎでは・・・(医科)

■訪問診療に入れなない施設があった(歯科)

■受診控えもあり電話での処方のみで本人の情報収集が十分にできない(薬局)

■入院中の利用者の面会制限があり、病院の情報と実際がかなり違う(介護)

■面会制限があり、本人に合えない為、本人の思いをくみ取るのが難しい(介護)

■有料老人ホーム等入居中のご利用者様との面談が長期にわたり行えない状況になっている。面会の工夫、対面でのモニタリングができる環境を整えたいと感じている
(介護)

■入院患者、入所者、家族のストレス、認知症の進行等の弊害(医療&介護)

■誰がいつどこで感染するかわからない状況である為、感染予防を徹底していても恐怖でしかない (有料)

■医療
情報発信の不安



■介護
情報収集の不安

■共通

人の行き来きでのコロナ罹患の不安
コミュニケーション不足によるストレスの増加/認知症の増悪

「百聞は一見にしかず」！！「一见」の大事さを痛感

「人同士が会えない」を補完⇒ICTツール普及（ZOOM FaceTimeなど）

ICT活用のメリット/デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">■コロナ罹患予防■顔がみえる ⇒ストレス減■実動作がわかる ⇒情報の補完■移動時間の短縮 ⇒業務の効率化■診療報酬・介護報酬の算定可 ⇒利益あり■参加だけであれば導入が簡単(無料)	<ul style="list-style-type: none">■初期投資が少し必要 (ネット環境、カメラ等) ⇒補助金の活用もあり ■マンパワーがいる (動画撮影、セッティング等)